

(別紙 1)

家畜生産能力等向上強化推進の事業細目及び具体的な手続き等について

実施要領第 2 の 1 の畜産局長が別に定める各事業の細目及び具体的な手続き等は、次のとおりとする。

第 1 事業の内容

1 乳用牛

遺伝子解析情報を活用した改良手法を活用した、長命連産性や日本の飼養環境に適した、優れた乳用牛の作出の取組及び特色ある優良遺伝資源の活用のための取組に対して支援する。

なお、事業細目については、別紙 1－1 に定めるとおりとする。

2 肉用牛

遺伝子解析情報を活用した新たな評価手法による近交係数の上昇抑制に配慮した生産体制の確立、新たな改良形質に着目したゲノミック評価による繁殖雌牛の選抜の推進、産肉能力以外の形質を含めたデータ収集・活用、肉用牛の出荷時期早期化等の取組に対して支援する。

なお、事業細目については、別紙 1－2 に定めるとおりとする。

3 豚

肉質面や繁殖能力に関する新たに実用化された遺伝子解析情報を活用した改良の取組及び産肉能力に関するデータ収集体制の構築のための取組に対して支援する。

なお、事業細目については、別紙 1－3 に定めるとおりとする。

4 鶏

地鶏等の近交係数の上昇抑制と遺伝資源の再生を可能とする始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術の導入及び、その技術の全国的な普及のための取組及び国内育種資源の安定的な供給体制の構築のための取組に対して支援する。

なお、事業細目については、別紙 1－4 に定めるとおりとする。

第 2 事業実施主体

本事業の事業実施主体は、要綱別表 1 の事業実施主体欄に掲げるとおりとする。

第 3 事業実施の手続

1 実施要領第 3 の 1 の事業実施計画の様式は下表のとおりとする。

事業の種類	別添様式		提出先
	共通	事業別	
1 乳用牛			
(1) 遺伝子解析情報を活用した長命連産性等に優れた乳用牛の改良推進	別紙 1 様式 第 1 号	別添 1－①	畜産局長
(2) 多様な育種素材の評価活用対策		別添 1－②	畜産局長

2 肉用牛 (1) 地域固有系統の再構築等支援対策 (2) 多様な改良形質の活用推進 ① 新たな改良形質の SNP 解析 (3) 多様な改良情報の収集・分析及び肉用牛の出荷時期早期化等対策 ① 産肉情報基盤の強化・活用 ② 新たな改良形質の検討・評価 ③ 肉用牛の出荷時期早期化対策 3 豚 (1) 遺伝子検査等の推進 (2) 産肉能力の改良推進 4 鶏 (1) 始原生殖細胞 (PGCs) の凍結保存等技術の習得及び普及 (2) 始原生殖細胞 (PGCs) の凍結保存等技術を導入及び推進する取組 (3) 国内育種資源供給体制推進対策		別添 1-③	畜産局長
			畜産局長
		別添 1-④	畜産局長
		別添 1-⑤	畜産局長
		別添 1-⑥	畜産局長
		別添 1-⑦	畜産局長
		別添 1-⑧	畜産局長
		別添 1-⑨	畜産局長
		別添 1-⑩	畜産局長
		別添 1-⑪	畜産局長

2 本事業については、事業実施計画書に記載された事業実施期間に行われる取組について補助の対象とする。

第4 事業達成状況の報告

実施要領第5の事業達成状況の報告（別記様式2号）に添付する様式は、別紙1様式第1号に添付する様式に準じて作成し、事業実施年度の翌年度の4月末までに、第3の1の表の提出先に提出するものとする。なお、総括表等は、計画と実績が比較できるよう、2段書きにする（上段に計画を括弧書きし、下段に実績を記入する）こととする。

第5 事業の評価等

- 1 事業実施計画における目標年度及び成果目標は、第3の1の事業実施計画に添付する様式において、取組の効果を定量的に評価できる客観的な指標を設定するものとする。
- 2 実施要領第6の事業評価報告書（別記様式3号）に添付する様式は下表のとおりとし、事業ごとに、別紙1-1から4までに定める期日までに、第3の1の表の提出先に提出するものとする。

事業の種類	添付する様式	
	共通	事業別

<p>1 乳用牛</p> <p>(1) 遺伝子解析情報を活用した長命連産性等に優れた乳用牛の改良推進</p> <p>(2) 多様な育種素材の評価活用対策</p> <p>2 肉用牛</p> <p>(1) 地域固有系統の再構築等支援対策</p> <p>(2) 多様な改良形質の活用推進</p> <p>① 新たな改良形質の SNP 解析</p> <p>(3) 多様な改良情報の収集・分析及び肉用牛の出荷時期早期化等対策</p> <p>① 産肉情報基盤の強化・活用</p> <p>② 新たな改良形質の検討・評価</p> <p>③ 肉用牛の出荷時期早期化対策</p> <p>3 豚</p> <p>(1) 遺伝子検査等の推進</p> <p>(2) 産肉能力の改良推進</p> <p>4 鶏</p> <p>(1) 始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術の習得及び普及</p> <p>(2) 始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術を導入及び推進する取組</p> <p>(3) 国内育種資源供給体制推進対策</p>	<p>別紙 1 様式 第 2 号</p>	<p>—</p> <p>別添 2－①</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>別添 2－②</p> <p>別添 2－③</p> <p>—</p> <p>別添 2－④</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
--	--------------------------	--

第6 助成

実施要領第7の事業ごとの助成対象となる経費は、別紙1－別表に記載するとおりとする。

第7 不正行為に対する措置

畜産局長は、事業実施主体が本事業の実施に関連して不正を行い、又はその疑いがあると認めた場合には、事業実施主体に対し、当該不正またはその疑いのある行為に関する事実関係及び発生原因の究明並びに再発防止のための是正措置等の適切な措置を講じるよう求めるものとする。

第8 その他

- 1 畜産局長は、この要領に定めるもののほか、本事業の実施について、事業実施主体に対し、必要に応じ調査を行い、又は報告を求めることができるものとする。
- 2 この要領に定めるもののほか、この事業の実施につき必要な事項については、必要に応じて農林水産省畜産局畜産振興課長が別に定めるものとする。

別紙 1 ー別表

補助対象経費

1 共通

費目	細目	内容	留意事項
事業費	サンプル取得・郵送・検査費	本事業を実施するために直接必要なサンプルの取得・郵送・検査に必要な経費	
	データ収集・処理・分析費	本事業を実施するために直接必要なデータの収集・処理・分析に必要な経費	

2 乳用牛

費目	細目	内容	留意事項
事業費	家畜等購入費	精液の購入にかかる経費	財産管理台帳を整備すること。
	凍結精液使用・管理器具購入費	凍結精液の使用・管理に必要な器具の購入にかかる経費	財産管理台帳を整備すること。
	受精卵導入費	受精卵及び性選別受精卵の導入にかかる経費	物品受払簿で管理すること。
	受精卵生産費・移植費	受精卵の生産に必要な経費及び生産した受精卵を移植する経費	

3 肉用牛

費目	細目	内容	留意事項
事業費	奨励金	枝肉成績の提供に協力する肥育生産者に対し交付する奨励金	

	新たな改良形質測定機器の購入費	新たな改良形質を測定するために必要な機器（不飽和脂肪酸を測定するための光学測定器等）の購入にかかる経費	
	生体肉質診断機器の購入費	肥育牛の出荷適期を見極めるために必要な機器（肥育牛の肉質を生体で診断するための超音波診断機器等）の購入にかかる経費	

4 豚

費目	細目	内容	留意事項
事業費	奨励金	指定交配を実施する種豚生産者に対し交付する奨励金	
	プログラム開発・改修費	種豚データ分析のためのプログラム開発・改修に係る経費	
	データ測定機器の購入費	産肉能力に関するデータを測定するために必要な機器（体重測定器、超音波測定器等）の購入にかかる経費	財産管理台帳を整備すること。

5 鶏

費目	細目	内容	留意事項
事業費	システム導入費	始原生殖細胞（PGCs）凍結保存システムの導入にかかる経費	財産管理台帳を整備すること。

別紙1様式第1号（共通）（第3の1関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（家畜能力等向上強化推進）

1 事業の種類

--

（注）要綱別表1の「事業内容」を記載すること。

2 事業の目的（変更理由）

--

3 事業実施方針

--

（注）事業実施に当たっての基本的な方針、業務推進体制等を記載すること。

4 総括表

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国庫補助金	事業実施主体	
	円	円	円	

（注）事業内容欄は、要綱別表1の「事業内容」ごとに、実施する取組の内容を具体的に記載すること。

5 取組により期待される効果（成果目標）

成果目標	検証方法	事業実施効果
現 状 値：（ 年度）		
目 標 値：（ 年度）		

（注）1 成果目標の欄は、定量的な指標を設定すること。

2 検証方法の欄は、目標値を具体的に検証する手法を記載すること。

6 事業実施予定期間

年 月 日 ～ 年 月 日

別添 1－⑥（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
 （肉用牛のうち「多様な改良情報の収集・分析等対策（肥育牛の出荷時期早期化対策）」）

1 生体肉質診断機器の導入計画（又は実績）

時期	導入機器	取組内容	備考

2 技術研修会の開催計画（又は実績）

回数	時期	場所	研修対象者 及び人数	取組内容	備考

別紙1様式第2号（共通）（第5の2関係）

〇〇年度事業評価報告書
(家畜能力等向上強化推進)

1 事業の種類

--

(注) 実施要綱別表の「事業内容」を記載すること。

2 事業の内容

--

3 事業実施期間

事業開始年月日	事業終了年月日	備 考
年 月 日	年 月 日	

4 成果目標の達成状況

成果目標	実績値	成果の達成状況
現 状 値：（ 年度）		
目 標 値：（ 年度）		
その他効果：		
所 見：		

(注) 1 その他効果欄は、成果目標以外の事業効果等について記載する。

2 所見欄は、本事業の総合的な評価等を記載する。また、達成状況が低い場合の改善方法等を記載する。

別添 2－③（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業評価報告書
（家畜能力等向上強化推進のうち肉用牛の出荷時期早期化対策）

1 肥育牛の出荷時期早期化の状況

導入箇所名（ ）

	導入前年度 （ 年度）	導入年度 （ 年度）	導入 1 年後 （ 年度）	導入 2 年後 （ 年度）	備考
測定実施農家 戸数					
測定実施頭数					
出荷頭数					
平均出荷月齢					

（注） 1 本表は導入箇所ごとに作成すること。

2 測定実施頭数、出荷頭数及び平均出荷月齢は、測定実施農家における肥育牛を集計の対象とすること。また、測定頭数は実頭数とすること。

2 所見・評価

--

（注） 1 導入箇所ごとに記入すること。

2 機器導入による出荷時期早期化の状況に関する所見・評価に加えて、機器の活用方法や測定対象とした肥育牛の考え方、本事業以外の出荷時期早期化に向けた取組等についても具体的に記入すること。